



農地利用の最適化に邁進！ 担い手への集積化を加速！

会長 間宮良一

皆様には輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。
昨年は、相次ぐ異常気象による災害や、市場開放により、日本農業は内憂に悩まされた一年となりました。米政策においては行政による生産数量目標配分が廃止され、代わって「需要に応じた生産」(目安)を設定して生産調整が実施されましたが、大きな混乱は無かったように思われます。

私たち農業委員会は、「農地を守る」組織として、地域に根ざした農業者を確保し、育てながら、地域社会には全力で「農地利用の最適化」に邁進していかねばなりません。

加えて、地域のリーダーである農地利用最適化推進委員とスクラムを組み、将来像を描き、農地の有効利用・担い手(後継者)への農地利用の集積・集約化を加速しなければなりません。

また、農地パトロールを実施しながら、利用実態把握などの総合的な点検を積み重ね、合理的な農地利用への誘引を図っていきます。

このことにより、農業者は経営基盤拡充、安定した所得確保を積極的に展開することができます。

町行政や、農協など関係する機関・団体と連携を密にし、様々な難局を乗り越えていかなければなりません。

今後とも皆様のご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

シリーズ 《がんばっています》 農業・生活とビジネス 小菅 高橋 大地

私が農業を始めるようになって四年以上経った今、自分に何ができるか、どんな農業をしていきたいかを考える日々を送っています。調理を学び、料理人としての道に挫折しての就農だったため、明確な目標と呼べるものを欠いたままここまでやってきました。ハングリー精神が足りないとよく言われたものです。しかし、だからといって親の作ってきた農業の形をそのまま受け継ぐには私は少しワガママな性根をしていたようです。どうしても自分で新しいことを始めてみたくなったのです。



水稲と西瓜を続けた場合、父より体力のない私は遠く

い将来へたつてしまおうでしょう。そんな不安もあり、体力に任せる農業からの脱却を今の目標としています。
調理師としての知識と農家の視点を最大限活かしたビジョンを作り上げ、プランを練り、失敗しては修正を繰り返しながら、一歩ずつ自分の農業を見つけていきたいと思っています。周囲から「早く結婚しろ」とせっつかれているので、そちらも努力しつつ、「そうになったらプランも大幅に修正になるなあ」と、今日も取らぬ狸の皮算用をしています。

新規就農者への支援・・・キラリ！夢ある農業経営(山形県農林水産部農政企画課監修)より抜粋(一部追記)

◎技術の習得・経営ノウハウの習得

- ①農業経営実践講座【北村山農業技術普及課】
- ②働きながら学ぶ入門講座【農林大学校】
- ③新規就農者支援研修【農林大学校】
- ④先進農家研修【やまがた農業支援センター】
- ⑤独立就農者育成研修事業
…就農時45歳以上の経営基盤を持たない新規参入者が研修を受講する場合(最長2年)年間150万円を給付【やまがた農業支援センター】
- ⑥農業次世代人材投資資金(準備型)
…就農時45歳未満の新規就農者が研修を受講する場合(最長2年)年間150万円を給付【県】
- ⑦農の雇用、雇用就農促進事業
…農業法人等が、就農希望者を雇用し実施する研修を最長2年間助成【農業会議】

◎営農定着のための経営支援

- ①農業次世代人材投資資金(経営開始型)
…就農時45歳未満の独立・自営就農者に年間150万円を最長5年間給付【県・市町村】
- ②独立就農者定着支援事業
…就農時45歳以上の就農者に年間36万円を助成及び定着支援アドバイザーを配置【県・やまがた農業支援センター】
- ③経営体育成支援事業
…人農地プランに位置づけられた中心経営体等に対して農業用機械等の導入を補助【県・市町村】
- ④青年等就農資金…【市町村・金融機関】

※詳しいお問い合わせは、町産業振興課農政担当窓口【35-2111内線143】又は北村山農業技術普及課経営企画担当窓口【0237-47-8638】へ

農業委員・農地利用最適化推進委員紹介

(農)…農業委員
(推)…農地利用最適化推進委員

亀井田① 			大石田 		
亀井田② 			横山・田沢 		